

# フォレストニュース

植林が地球を救う  
平成22年(2010)7月10日  
No. 31  
発行 高津啓洋

緑の会では、今日まで植樹活動を展開してきましたが、特に最近ではニームの植樹に力を入れてきました。

## ニームをなぜ植える？

その理由は、荒地にもよく生育し、雨量が少ない土地にも耐えるものだからです。特に、パンタナール地域においては、塩分も多く、植樹には不適な地域が多くあります。また、たび重なる伐採と牧場づくりの過程で、洪水も重なり貴重な表土を失っています。

中でも、多くの木が冬枯れの時期を迎えて、乾季と重なり葉を落としますが、ニームの木は乾季にも関わらず、旺盛に葉を茂らせています。この土地に最適です。

6月8日NPOニーム協会の勉強会があり、稲葉眞澄会長から、現在のニームの医学的利用についての興味深い報告がなされました。世界では毎年マラリアの為に200万人以上の方が亡くなっています。また、エイズによる死亡率も大きなもので、それらに対してニームが効果があるとされています。さらに多くの研究がなされていて、人類が抱えている多くの疾病に対処してくれそうです。



エスペランサ村



一年弱でしっかりとした街路樹に

## ニーム豆知識

インドの民間伝承医療である「アーユルヴェーダ」では、特にニームは「村のお医者さん」と言われるほどで、最も古くから使われてきたハーブです。その種子から抽出した液にはアザディラクチンと呼ばれる非常に強力な害虫忌避能力を持つ成分が含まれています。人や農作物には害がなく、200種類以上の害虫に効果があるといわれています。胃薬、歯磨き、虫除けなど、広く使われてきました。

## 引落会員募集のお願い

生態系を回復し、地球温暖化を防ぐ要は、どれだけ多くの植林をするかにかかっています。NPO地球の緑を守る会では、毎月一口3000円の、引落会員を募集しています。多くの方々の参加をお願い致します。

## 環境セミナーを開催

7月11日、8月8日、9月19日の3ヶ月間、高津啓洋代表が「環境セミナー」を開催します。この機会にぜひ、地球環境問題をお子様や御家族で学ぶ良い機会として下さい。参加費は家庭で、資料代を含め1000円です。

## 救おう絶滅危惧種



久しぶりの出会い(5月12日)

カピバラはいづこに！レダに訪問した人たちがカピバラを見たいとの要望で、レダ周辺のパラグアイ川と支流をくまなく探しました。しかし、カピバラに出会うことができませんでした。見たいと言った彼らは「残念だ！」と言いました。しかし、現地で活動をしているスタッフからすると「生態系は確実に崩れている、思ったよりはい速度で生き物は失われている深刻だ！」といます。飯野貞夫元理事によると「カピバラは、いつも家族で動いています、また写真に撮ってみたいすばらしい出会いが常にあった」と言います。しか



2010年 国際生物多様性年

し、今は探し回っても会える機会が少なくなったと言います。

現在、20分に1種というスピードで地球上の生物種が絶滅しているといわれています。“生

物多様性”という言葉は、遺伝子、種、生態系のすべての生命プロセスを指していますが、ここパンタナールでも、自然破壊と共に生態系にも多大な影響をもたらしています。

今年開催される「COP (Conference of the Parties)」とは、国際条約を結んだ国が集まる会議(締約国会議)のことです。多様な生き物や生息環境を守り、その恵みを将来にわたって利用するために結ばれた生物多様性条約では、10回目の締約国会議「COP10」を2010年10月、愛知・名古屋で開催します。